

指定管理業務点検・評価シート（平成25年度）

平成26年10月16日

施設名	とっとりバイオフィロンティア	所在地	米子市西町133番地2
施設所管課名	商工労働部経済産業総室	連絡先	0857-26-7244
指定管理者名	公益財団法人鳥取県産業振興機構	指定期間	平成23年度～平成25年度

1 施設の概要

設置目的	バイオ産業の集積の形成及び活性化を図り、県内産業の振興に寄与する。
設置年月日	平成23年4月1日
施設内容	○建築面積：1,260.84㎡ ○施設内容：研修室1、機器分析室1、遺伝子実験室1、細胞実験室1、実験室4、居室4、動物飼育室4他
利用料金	（別紙のとおり）
開館時間	午前9時～午後5時 ただし、事前申請により開館時間外の利用も可能な場合あり。
休館日	○日曜日、土曜日、国民の祝日 ○12月29日～1月3日 ただし、事前申請により休館日の利用も可能な場合あり。

2 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	○施設設備の維持管理に関する業務（施設設備の保守管理、修繕、清掃、保安警備等） ○施設設備、機器の利用の許可、利用料金の徴収等に関する業務 ○その他施設の管理運営に必要な業務（利用者の受付・案内、付属設備・備品の貸出、利用指導・操作、利用者へのサービスの提供、施設の利用促進、その他施設の管理運営に必要な業務） ○利用者の研究開発・事業化の支援に関する業務（相談・問い合わせへの対応、情報収集・情報提供、産学官連携の推進等） ○バイオ産業に従事する専門的な人材の育成に関する業務
---------	---

3 施設の管理体制

	県・米子市派遣職員：2人、任期付職員：4人、非常勤職員：1人、臨時的職員：1人　〔計8人〕
管理体制	<pre> バイオフィロンティア推進室長（県派遣職員） 施設長（任期付職員1、バイオマネージャー兼務） ──┬──（参与（西部支部長兼務）） └──（県外参与（囑託）） 副室長兼副施設長（市派遣職員） 事業推進グループ長（任期付職員1） ──┬──（管理グループ長（副室長兼副施設長兼務）） └── 機器・管理担当スタッフ（非常勤職員） バイオ人材育成コーディネーター（任期付職員1） ──┬── 管理グループスタッフ（任期付職員1） └── 事務スタッフ（臨時的職員） </pre>

4 施設の利用状況

利用者数（人： 貸実験室等入居 者含む）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	24年度		160	262	447	483	492	604	788	924	602	892	753	877
25年度		1,090	1,333	1,481	1,519	1,540	1,599	1,978	1,869	1,998	2,086	1,975	2,087	20,555
増減		930	1,071	1,034	1,036	1,048	995	1,190	945	1,396	1,194	1,222	1,210	13,271

利用料金収入 （千円）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	24年度		666	667	577	696	604	701	654	646	628	510	851	617
25年度		663	719	828	915	858	510	1,141	977	924	916	849	851	10,151
増減		△3	52	251	219	254	△191	487	331	296	406	△2	234	2,334

5 収支の状況

区 分		25年度	24年度	増 減	
収入	事業収入	賃借料	7,974	6,801	1,173
		機器使用料	2,177	1,016	1,161
		その他	71	0	71
		小計	10,222	7,817	2,405
	事業外収入	光熱水費負担金収入	2,086	2,065	21
		自動販売機手数料	80	75	5
		受取利息	2	4	△2
		雑収入（エコカー補助金）	0	100	△100
		県委託料	60,064	67,939	△7,875
		小計	62,232	70,183	△7,951
計	72,454	78,000	△5,546		
支出	人件費	24,423	22,400	2,023	
	管理運営費	48,031	55,600	△7,569	
	計	72,454	78,000	△5,546	
収支差額		0	0		

6 サービスの向上に向けた取組み

区 分	取 組 み 内 容
組織	・バイオ技術に関するセミナー等に積極的に参加し、職員の資質向上に努めた。
設備	・施設内にAEDを設置。使用方法に関する講習会も開催。 ・301、303号室について壁の防音工事を実施。 ・掲示物展示用のレール設置。 ・機器予約システムの導入。
その他	・説明会の開催及び学会セミナー等での施設説明やリーフレット配布等により周知を図った。 ・県内外企業などを訪問し、施設利用促進に向けての活動を行った。

7 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	<ul style="list-style-type: none"> ・計10回にわたる意見交換会を開催し、利用者の要望、意見を把握及び要望への対応、課題の解消に努めた。 ・施設玄関に意見投書箱を設置。今年度は意見は無かった。
------------	---

利用者からの苦情・要望	対応状況
鳥取大学5Fの動物飼育室は、現在は、借りている部屋の半分しか使っていない。現在のように「部屋貸し」ではなく「ケージ貸し」にしていただきたい。	平成26年度から、ケージ貸しに変更した。
施設内にAEDを置いてもらいたい。県関係の施設には殆ど設置されている。	入荷し、使用に関する講習会等を12月12日に実施。
居室の防音をして欲しい（隣部屋の声がよく聞こえる）	301, 303号室について壁の防音工事を実施。
大腸菌の扱いの部分で区画を整理してほしい。（ピペットマン、保冷库等）	玄関ホールの土足エリア改善と並んで、この件についてもメールにて関係者への意見聞き取りを行ったが、意見、提案は無かったので、バイオフィロントピア提案内容（「細胞実験室内の全ての保管系機器及び機器分析室右手前の薬用冷蔵ショーケース（0594-03）を大腸菌保管不可」）で対応。
カードがない宅配の方が部屋まで持ってもらう時にどういう経路で持って来てもらえばよいのかを明確化してほしい。	玄関の案内張り紙を分かりやすく改訂。外来者には、必ず事務所に寄ってもらう。また、宅配物等の直接届けについては入居者からの「直接届けてほしい」との要望に基づき可能な限り実施しているが、施設不案内な人については事務所で誘導する。
機器予約システムのお知らせにセミナーのお知らせがあったが、メーリングリストでも知らせがあれば便利に思う。予約のページのみのお知らせだと気づかない人もいると思うので、利用促進の意味でもメーリングリストでのお知らせがあった方がよいと思う。ただし、メーリングリストを送信する場合、アドレスが見えないように。	機器予約システムにあるメーリングリストを利用してセミナー等のお知らせを実施。なお、メーリングリストの送信については、BCCを利用し表示しないように工夫。 施設利用者のメーリングリストを導入。

利用者からの積極的な評価
<ul style="list-style-type: none"> ・機器予約システムが導入され、機器予約及び利用がしやすくなった。 ・BioJapan2013への出展支援等、企業PRを進めてもらい助かる。 ・機器利用料金が非常に安価で助かっている。 ・フリース素材の防寒具を導入してもらい、快適な環境で研究できる。

8 指定管理者による自己点検

〔成果のあった取組み・積極的に取り組んだ事項〕
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者から要望のあった実験分析機器に係る説明会・研修会を実施。加えて、職員による機器使用のサポートを行うことにより、利用者のスキル向上につなげた。 ・バイオ知識や動物実験技術の向上、知的財産に関する講座を開講し、施設利用企業等が必要とする人材の育成を支援した。

〔現在、苦慮している事項〕〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用拡大と事業化の推進、共同研究先である企業の誘致等を図っている。 ・居室等が満室で今後の研究等の進展でベンチャーや共同研究参画社の入居希望に応えられない状況にある。

9 施設所管課による業務点検

項 目	評 価	点 検 結 果
〔施設設備の維持管理・緊急時の対応等〕 ○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応	B	○おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。
〔施設の利用の許可、利用料の徴収等〕 ○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令 ○利用料金の徴収、減免	B	○おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。
〔その他管理施設の管理に必要な業務〕 ○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作	B	○おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。
〔利用者サービス〕 ○開館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応	B	○おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。
〔利用者総合支援業務の実施状況〕 ○利用者の研究開発及び事業化推進（事業計画、進捗状況把握等） ○利用者のニーズ把握、情報提供 ○人的ネットワークの構築 ○事業運営委員会等の運営	B	○おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。
〔バイオ人材育成事業の実施状況〕 ○人材育成カリキュラム作成・研修実施 ○広報等 ○事業評価、ニーズ把握、効果検証	B	○おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。
〔収入支出の状況〕	A	○協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画を上回る実績があり、優れた管理運営がなされている。 (コメント) ・貸し部屋(居室、実験室)がH25から満室となっており、施設利用料収入が増加(前年比約2割増)している。 ・機器予約システムの導入等により、機器利用件数が大幅に伸びており(前年度比約3倍)、機器利用収入が増加している(前年度比約2倍)。
〔職員の配置〕 ○業務全体の総括責任者 ○染色体工学技術を中心としたバイオテクノロジーに関する専門知識を有する者 ○動物実験に関する経験者 ○利用者の要望に応えられる体制	A	○協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画を上回る実績があり、優れた管理運営がなされている。 (コメント) ・H24年度から新たに配置された機器管理スタッフについて、日々の機器点検、操作指導等活動が軌道に乗ってきている。 ・国プロジェクトを活用して新たに専門人材を配置する等、事業化支援体制が強化された。
〔関係法令の遵守〕	B	○おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。
総 括	B	○おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。

《評価指標》 A：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画を上回る実績があり、優れた管理運営がなされている。

B：おおむね協定書の内容どおり実施されており、適切な管理が行われている。

C：一部、改善・工夫を要する事項が見られたが、改善済み又は改善される見込みである。

D：協定書の内容に対し、不適切な事項が認められ、大いに改善を要する。